

ツアー番号
LKN5ZASPEC

寺院と自然（22日間）

22日間・21泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

このツアーについて

このプライベート22日間のツアーは、プロフェッショナルなシャウフェール・ガイドによる個別ガイドで、スリランカ全域を網羅しています。西海岸、文化三角地帯の古代都市、キャンディとヌワラエリヤ周辺の丘陵地帯、南部の森林と野生動物公園、そしてベントータのビーチでの長期滞在など、余裕を持ったペースで進みます。各地域を単に通り過ぎるのではなく、じっくり時間をかけて探索できるよう、複数泊の滞在地が複数設定されています。

このツアーでは、アヌラーダプラの遺跡を歩き、シギリヤ岩要塞に登り、ダンブッラの洞窟寺院を訪れ、キャンディの仏歯寺と王立植物園を見学し、ホートンプレインズへの訪問を含むヌワラエリヤ周辺の茶の国で時間を過ごします。その後、エラのハイキングコース、ウダワラウェ国立公園の象、シンハラジャの熱帯雨林、ベントータ近郊のマドゥ川湿地を巡り、最後は数日間のビーチタイムで締めくくります。

このツアーは現地のシャウフェール・ガイドが運転と現地手配を行い、交通費、シャウフェール宿泊費、税金とサービス料が含まれています。ホテル宿泊、入場料、航空券、個人的な費用は別途手配となります。このツアーはプライベートなので、スケジュールはグループのご要望に応じて柔軟に調整できます。



日程詳細

1日目　空港 → ネゴンボ

この旅は、古くから続く漁業の町として知られる西海岸のビーチタウン、ネゴンボから始まります。



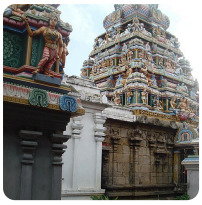
ネゴンボ・ビーチ

ネゴンボの砂浜でのんびりと過ごしながら、何世紀も続く漁業の様子を眺めましょう。沿岸には50年前に沈んだ難破船があり、今では多くの魚たちの住処となっており、ダイビングなどのマリンスポーツも楽しめます。

AI生成画像・実際の写真ではありません

2日目 ネゴンボ → アヌラーダプラ

文化三角地帯へ向けて内陸部を進み、途中で重要なヒンドゥー教寺院群に立ち寄ります。



ムンネーシュワラム寺院

チラウ近郊にあるこの地域のヒンドゥー教寺院群は、少なくとも西暦1000年頃から存在し、伝説では『ラーマーヤナ』とその英雄王ラーマに結び付けられています。シヴァ神を祀るこの地域の5つの古代寺院のうちの一つです。

Leon Meerson · CC BY-SA 2.0

3日目 アヌラーダプラ → シギリヤ

千年以上にわたりスリランカの首都であったアヌラーダプラの遺跡を一日かけて巡った後、シギリヤへと向かいます。



アヌラーダプラ古代都市

西暦10世紀まで島の首都として栄えたこの遺跡の街を歩きます。広大な敷地には仏塔や僧院の建物、池などが点在しています。主な見どころには、かつて古代世界で最も高い建造物の一つであったジェタヴァナーラーマ、スリー・マハー菩提樹、そしてアバヤギリ僧院の遺跡などがあります。

Thisaru Tharuka · CC BY-SA 4.0

4日目 シギリヤ → ミンネリヤ → シギリヤ

シギリヤ・ロック・フォートレス、村での体験、そしてミンネリヤ国立公園でのサファリを組み合わせた一日です。



シギリヤ・ロック・フォートレス

カーシャパ王の治世下、5世紀に築かれたこの岩山要塞は、ライオンの足の形をした入口にちなんで「獅子岩」と呼ばれ、ユネスコ世界遺産に登録されています。保存状態の良い壁画を眺めながら急な階段を登ると、テラス状の庭園や貯水池が現れ、古代スリランカの水利技術の一端を見ることができます。

Wrobell · CC BY-SA 3.0

村での体験

牛車に乗ったり、穏やかな湖をカタマラン・サファリで渡ったり、水田を歩いたりしながら、伝統的な料理の実演を見学します。昼食は薪の火で調理され、蓮の葉の上に盛られて提供され、スリランカの村の暮らしを垣間見ることができます。



ミンネリヤ国立公園サファリ

公園内の低木地帯や森林をサファリで巡ります。5月から10月の乾季には、150頭以上の象が一堂に集まる「グレート・エレファント・ギャザリング」として知られています。その他にも様々な哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類を見ることができます。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0

5日目 シギリヤ → ダンブッラ → キャンディ

ダンブッラの石窟寺院とマータレーのスパイス園を訪れながらキャンディへ向かい、一日の終わりには伝統舞踊ショーを観賞します。



ダンブッラの黄金寺院

紀元前1世紀に遡るこの石窟寺院群には、仏陀の生涯を描いた古代の壁画や、5つの主要な洞窟に点在する数百体の仏像や神像があります。その中には「神聖なる王の洞窟」や「偉大なる王の洞窟」も含まれます。境内の外には巨大な黄金の仏像が立っています。

Lankapic · CC BY 2.5



マータレー・スパイスツアー

スリランカのスパイス栽培の中心地マータレーにあるスパイス・ハーブ園を訪れ、コリアンダー、チリ、シナモン、カルダモン、ナツメグなど、熱帯気候で育つ様々なスパイスについて学びます。また、アーユルヴェーダ医学におけるその利用法も紹介されます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



キャンディ文化舞踊ショー

火の踊り、剣の踊り、そして太鼓の演奏に合わせたキャンディアン・ダンスなど、スリランカの伝統舞台芸術を1時間にわたって楽しめるショーです。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

6日目 キャンディ

キャンディで最も重要な宗教施設と植物園を訪れる一日です。



仏歯寺

このユネスコ世界遺産は、仏陀の聖なる歯の遺物を納め、守るために16世紀に建てられました。回廊やホールは赤、クリーム色、黒で装飾され、彫刻の施された柱や黄金の像が並びます。

A.Savin · FAL



ペラデニヤ王立植物園

19世紀初頭に設立されたこの植物園には、ランやスパイス、薬用植物を含む4000種以上の植物が植えられています。見どころとしては、カノンボール・ツリー、吊り橋、生垣の迷路、大きな木陰をつくる木々などがあります。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

7日目 キャンディ → ヌワラエリヤ

ヌワラエリヤへ向かう途中、セイロン紅茶について学びます。ヌワラエリヤはかつて英国人が避暑地として利用した高原の町です。

紅茶工場と茶園

実際に稼働している工場と茶園で、セイロン紅茶がどのように作られるかを見学します。紅茶は1824年にスリランカの王立植物園で初めて植えられ、1852年にジェームズ・テイラーがルーレコンデラの農園に定住したことで商業栽培が始まりました。



ヌワラエリヤの町

この高原の町は、19世紀から20世紀初頭にかけて英国人の主要な保養地として利用され、街にはコテージや別荘、邸宅が並びます。赤レンガ造りの古い郵便局を訪れたり、クイーンズ・ビクトリア公園やグレゴリー湖でのんびり過ごすことができます。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

8日目 ヌワラエリヤ → ホートンプレインズ → ヌワラエリヤ

草原、雲霧林、展望台で知られるホートンプレインズ国立公園への日帰り旅行です。



ホートンプレインズ国立公園

オヒヤ近郊にある、この公園の高原草原と雲霧林を探索し、「世界の果て」と呼ばれる断崖からの眺めや、ベイカーズ・フォールズの水しぶきを楽しみます。この草原には複数の固有種が生息し、考古学的に興味深い遺跡も見られます。

Faslan at en.wikipedia · CC BY-SA 3.0

9日目 ヌワラエリヤ

ヌワラエリヤでゆったりと過ごす自由日です。

10日目 ヌワラエリヤ → エッラ

エッラへ移動しながら、その道中にある代表的な見どころを巡ります。



リトル・アダムズ・ピーク

茶畑や岩肌の道を進みながら、リトル・アダムズ・ピークの眺めを楽しみます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ナイン・アーチズ・ブリッジ

この歴史的な橋を歩いて渡り、建設当時の物語に耳を傾けます。

Deitel55 · CC BY-SA 3.0



デモダラ駅

散策はこの駅で終わります。ユニークなループ構造の線路設計で知られています。

A.Savin · FAL

11日目 エッラ

この地域で最も高い展望台の一つへのハイキングです。

エッラ・ロック

約3時間のハイキングでエッラ・ロックを登ります。道中、ナムヌクラ山脈やリトル・アダムズ・ピークの景色を眺めることができます。山頂からは、バンダラウェラ山脈、プーナガラの丘、ナランガラ、エッラ・ギャップ、そしてバドゥッラの鉄道線路を見渡すことができます。

12日目 エッラ → ウダワラウェ

エッラからウダワラウェへ移動し、次の滞在地にチェックインします。

13日目 ウダワラウェ

象で知られるウダワラウェ国立公園でのサファリの一日です。



ウダワラウェ国立公園サファリ

1970年代に野生動物保護区として設立された公園の湿地、森林、草原を巡る3時間のサファリです。水鳥やスリランカ象をはじめ、様々な哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、蝶などが見られることで知られています。

AntanO · CC BY-SA 4.0

14日目 ウダワラウェ → シンハラジャ

シンハラジャへ移動し、熱帯雨林近くに滞在します。

15日目 シンハラジャ

伝統的な魚のスパ体験で過ごす、くつろぎの一日です。

フィッシュ・スパ・セラピー

シンハラジャ地域の天然の水流には、地元で「ドクターフィッシュ」と呼ばれる歯のない小魚が生息しており、乾いた角質を優しく食べて足をすっきりとさせてくれます。

16日目 シンハラジャ

ユネスコ世界遺産に登録されているシンハラジャ森林保護区へのジャングル・サファリです。



シンハラジャ森林保護区

スリランカに残る最後の大規模な原生熱帯雨林で、密集した常緑樹の植生が特徴です。サルの鳴き声に耳を澄ませ、色鮮やかな森の鳥たちを探しながら、運が良ければ緑色のヤマカガシの仲間であるグリーン・ピット・バイパーを木々の間に見つけられるかもしれません。

Dan Lundberg · CC BY-SA 2.0

17日目 シンハラジャ → ベントータ

シンハラジャから海岸沿いのベントータへ移動します。

18日目 ベントータ

マドゥ川の湿地生態系を探る船旅です。



マドゥ川ボートライド

マドゥ川のマングローブ水路を進み、日なたで休むワニやミズオオトカゲを観察し、シナモンが収穫される小さな島を訪れます。この旅には魚のマッサージ体験や水鳥の観察も含まれます。

SUPindia · CC BY-SA 4.0

19日目 ベントータ(19日目〜21日目)

ベントータのビーチで自由に過ごす3日間です。



ベントータ・ビーチ

スリランカ最高のビーチの一つで、暖かな陽光、柔らかな砂、そして心地よい海風を感じながら過ごし、海に沈む夕日を眺めましょう。ここにはウミガメが産卵に訪れ、ビーチ沿いのホテルではジェットスキーやウィンドサーフィンなどのマリンスポーツも楽しめます。

Vincent van Zeijst · CC BY-SA 3.0

22日目 ベントータ → 空港

朝食後にチェックアウトし、空港へ向かいます。これで旅は終了となります。

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, inclusive of all chauffeur accommodation.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation.
- International / Domestic Airfare.
- Any expenses of personal nature.
- Entrance fees to the respective sites.